

令和6年度 学校経営方針

羽生市立西中学校
校長 門井 五雄

桜の花が咲く春が巡ってくると、自然の素晴らしさが実感されます。学校も季節が一巡し、気持ちも弾むような春を迎えました。生徒の皆さんも新しい学年に進級して夢や希望が膨らんでいると思います。

さて、本校では、明日の地域や羽生市を支える子どもたちの将来のために「目指す学校像」を「夢の実現に向け、生徒にとって学びがい、教師にとって働きがい、保護者にとって通わせがい、地域にとって応援しがいのある学校」としました。

「目指す生徒像」は「思慮深く考える生徒」「課題解決に向け、ツールを活用できる生徒」「多様な集団においてよりよい人間関係を築ける生徒」「心身ともに健康で、自律的に行動できる生徒」としました。

今日、急速なグローバル化の進展やデジタル技術の発展など、現代の社会は大きく転換しています。そのなかで教育に求められることは、社会の変化に対応し、自ら課題を発見し解決する力や、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する力を生徒たちに育むことです。

将来の予測が困難な時代において、生徒一人一人が豊かで幸せな人生を送り、持続的に発展する社会の創り手となるためには、教育の使命は極めて重要です。学校には「未来への大きな責任」があります。

また、「社会に開かれた教育課程」において、生徒たちが社会に関わり合い、自分の人生を切り拓いていくために必要な資質・能力が明確に示されています。そして、この資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」や、各学校におけるカリキュラム・マネジメントの確立が求められています。また、社会の変化に伴い、様々な現代的諸課題への対応が求められる中、学習の基盤となる資質・能力と位置付けられた「情報活用能力」の育成の取組も必要です。こうしたことを効果的なものとするために、1人1台の学習者用端末を適切に活用することも大切です。

本校では、これまで受け継がれてきた学校教育のよさを継承しながら、多様化するこれからの社会をたくましく生き抜いていく生徒たちを育てるために、教職員一丸となって取り組んでまいります。

これからの人生において、自らの力で人生を切り拓き、幸福な生涯を実現するとともに、社会の中で役割を果たすことができる人材の育成に向けて学校経営をしてまいります。せひ、保護者、地域の皆様におかれましては、引き続き本校教育活動への御理解、御協力を賜りますようお願いいたします。